

第 57 回鹿児島県高等学校新人ボクシング競技大会 (九州大会予選)要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 鹿児島県ボクシング連盟
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟ボクシング競技専門部
- 4 期 日 令和 7 年 10 月 17 日（金）～10 月 19 日（日）
- 5 会 場 鹿児島県総合体育センター補助体育館（鹿児島市下荒田 4-47-1 TEL(099)254-5155）
- 6 競技規則 令和 7 年度日本ボクシング連盟競技規則による。
- 7 競技方法 (1)男子ピン級からミドル級までの 8 階級
女子ピン級からミドル級までの 9 階級
(競技は全階級トーナメント方式で実施する)
(2)各学校の参加人数は各階級 3 名以内とする。
(3)各階級において参加者が 8 名を越える場合は、会場設営後に競技を実施する。

8 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則78条の2に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。

【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師（常勤）・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。

- 1 正規職員であること
- 2 当該部活動の指導を常時行っていること
- 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を 1 単位以上取得し、かつ 6 年以上の勤務経験があること

- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

ただし、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

9 参加資格

- (1) 本年度鹿児島県高等学校体育連盟加盟校在籍学生で 1・2 年生に限る。ただし、休学中・留学中の生徒は除く。
- (2) 年齢は平成 19（2007）年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技 2 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 複数校合同チームの大会参加については、本連盟が別途定める「複数校合同チーム大会参加規程」に従う。
- (5) 転校・転籍後 6 か月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りではない。（大会出場申請書を提出）
- (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) その他の事項については、上位大会実施要項に準ずる。
- (8) 参加資格の特例による学校（生徒）の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。

- (9) 令和7年度日本ボクシング連盟に競技者として登録済の者。なお、選手手帳の「実戦競技参加証明（初回用）」に日本ボクシング連盟役員をしている出場選手指導者の署名及び押印、親権者の署名、押印がされていること。また出場に際しては、技量や身体的な理由で事故の危険性がある選手については、指導者の責任で出場の制限をするなどの、適切な判断をすること。
- (10) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。なお選手は本年度に総合健康診断を受け、選手手帳の「健康診断記録」に必要事項が記載され、医師の署名捺印がされていること。なお、一般診療以外に受診しなければならない総合検診の内容は以下のとおりであり、不備のある場合は出場できない。
- ① 年次項目（選手手帳）、血液、尿検査は年一回実施する。
 - ② 心電図、レントゲンは高校入学時に実施し結果を記載していること。
 - ③ CTスキャン（またはMRI）受診済みの証明書を受けていること。なお、所見ありの場合は九州ボクシング連盟医事委員への報告及び相談をおこない、実戦競技参加の可否を確認すること。

10 参加申込

参加申込みに際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込締切日 令和7年10月2日（木）午後3時00分までに必着。
- (2) 申込方法
 - ① 当該学校長の責任において所定の申込書により1部作成し、作成した参加申込書をPDF化し、PDF化したファイルを指定のファイル送信システムにアップロードして申し込む。（「大会参加申込提出要領」参照）
 - ② セカンド届出用紙も1部提出すること。※ 上記①、②のデータは下記へも送信すること。
【nr4065t@gmail.com】
- (3) 申込先 県高等学校体育連盟が指定するファイル送信システム
※ ファイル送信システムには【①参加申込書】のみをアップロードすること。
- (4) 参加申込み提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに専門委員長に連絡をし、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

11 大会参加負担金

- (1) 参加申込生徒一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー等は除く。）を乗じた額とする。
なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。
- (2) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。
- (3) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

12 表彰

学校対抗・個人とも第3位まで表彰する。（3位は2名）ただし、学校対抗は男子のみとし、各階級1位5点、2位3点、3位1点、勝ち点1点を与える。

13 組合せ

県ボクシング連盟立会いのもと、高体連ボクシング専門部会議にて事前に抽選を行う。組み合わせ並びに大会結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

14 スポーツエントリーチェック

10月16日（木）13:00～県総合体育センター研修室にて行う。チェック内容は、選手手帳・健康申告書・ユニフォーム（各学校各コーナー色1着ずつ）とする。

15 引率者・監督会議（インテグリティ研修含む）

10月16日（木）のスポーツエントリーチェック終了後、速やかに実施する。出場校の引率者又は監督は必ず監督会議へ出席すること。なお、チーフセカンドを行う者は、必ずインテグリティ研修を受講すること。

16 会場設営・解体

設営は10月16日(木)の監督会議等終了後、14時を目途に参加校全員で行う。なお、解体についても参加校全員で行うものとする。(なお、解体についてやむを得ず参加できない場合は、その旨監督が申し出ること)

17 日程

月 日	検診・計量			競技日程	
10月16日(木)	13:00	スポーツ エントリーチェック・ インテグリティ研修	全選手	左終了後 14:00	監督会議等 会場設営
10月17日(金)	8:50	点呼 検診計量	当日 出場者	10:30 12:00	開会式 競技開始(1回戦)
10月18日(土)	8:50	点呼 検診計量	当日 出場者	12:00	競技開始(準決勝)
10月19日(日)	8:50	点呼 検診計量	当日 出場者	11:00 終了後	競技開始(決勝) 閉会式

※なお、8人を超える階級については、10/16(木)16時00分を目処に競技1日目を実施する。

18 その他

(1)本大会中に発生した傷害については、応急手当はするが、その後についての責任は負わない。

(2)参加する学校は各コーナー色のユニフォーム、カッププロテクターを持参する。

(3)参加する選手は次のものを必ず持参すること。

①選手手帳

②バンテージ(日連検定品)

③ガムシールド(マウスピース)※赤・ピンク等の赤系の色は禁止

(4)各階級1位2位の者は、九州新人大会の出場権を得る。

(5)競技補助員については、参加校全員でおこなう。

(6)県総体で2位以内入賞者は、同階級のみシードとする。

19 注意事項

(1)〔1年生選手〕の参加については、日本ボクシング連盟による通達を優先する。

(2)実施要項以外の規定は下記を適用する。詳細は下記QRコードを読み取り確認すること。

①公益社団法人日本ボクシング連盟 競技規則

②アマチュアボクシング競技 医事ハンドブック

③公認セカンド制度に関する規定

④競技ユニホームガイドライン



各種規定(確認用)